



藤岡市アクションプログラム

藤岡市 都市建設部 都市計画課

■ はじめに

藤岡市では、群馬県が策定した「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を踏まえ、人口減少・超高齢社会における課題を解決し、「望ましい将来像」を達成するため、第5次総合計画や都市計画マスタープラン等との整合性を図りながら、県と連携して必要な施策とその実現化方策となる「藤岡市アクションプログラム」を平成30年7月に策定しました。

■ 策定までの経緯

策定にあたっては、基礎的データから市の現状を把握し課題を分析しました。また、県と市の職員による合計5回のワークショップやまち歩きを通じて、まちづくりの課題を洗い出し、これを踏まえて、本市が目指す望ましいまちの将来像を実現するために必要となるアイデアを出し合いました。その後、庁内関係課及び県と協議調整しながら、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」で定めた基本方針に基づく具体的な取組を選定し取りまとめました。

■ 2つの重点プロジェクト

更に本市が目指す望ましいまちを実現するにあたり、事業の確実性及び効果の大きさなどを考慮して複数の関連事業を抽出し、「活力ある快適なまち藤岡」と「地域資源を活かすまち藤岡」をテーマとして重点的に取り組んでいきます。

■ 活力ある快適なまち藤岡

中心市街地や鉄道駅周辺へ都市機能を集約するとともに、相互のアクセス道路整備を進め、利便性の向上に努めます。また、まちなかの渋滞緩和を図るため環状道路など道路ネットワークを強化し、良好な居住環境の形成と定住人口の確保を図ります。

具体的には、策定から10年が経過した都市計画マスタープランの改定やコンパクトシティ実現のための立地適正化計画の策定を行っています。また、平成32年度中の供用開始を予定している(主)寺尾藤岡線バイパスの整備促進を図りながら、藤岡インターチェンジ西産業団地などの早期分譲を目指して、人口減少を緩和させるための取組を推進していきます。

■ 地域資源を活かすまち藤岡



上州藤岡蚕マラソン(高山社跡前を走るランナーたち)



建設中の(主)寺尾藤岡線バイパス(仮称)
新鐮川橋(平成30年8月現在)



工業団地造成が始まる
藤岡インターチェンジ西産業団地

藤岡の魅力ある自然・歴史・文化等を保全・活用し、その強みを活かして地域の魅力を向上させ、まちのにぎわい創出と交流人口の増加を図ります。

具体的には、レクリエーションの場をつくるために庚申山総合公園や毛野国白石丘陵公園などの整備を進めています。また、世界遺産である高山社跡の前を走る「上州藤岡蚕マラソン」や2年後の春に開催が決定した「花と緑のぐんまづくり2020in 藤岡」などの各種イベントを通じて、誘客数の増加を目指していきます。

